

そして岡田先生が多分、そのことを含めて、「2つの学会賞をもらったと思ってください」と言って下さったんだと思います。やっぱり若い人をやる気にさせる意味とか、奨励する意味では、何らかの形の賞があってもいいんじゃないかなという事を僕は前から思ってたんです。そして、学会賞を設けるようになった時の評議員会でも僕は絶対やるべきであるし、旅費をつけるべきだと言ったんです。

M:今はようやく旅費を出せるようになりましたし、

副賞も一応できるようになりました。今日はどうもありがとうございました。

(松浦啓一 Keiichi Matsuura: 〒169-0073 東京都新宿区百人町3-23-1 国立科学博物館標本資料センター e-mail: mastuura@kahaku.go.jp; 遠藤 広光 Hiromistu Endo: 〒780-8520 高知市曙町2-5-1 高知大学理学部海洋生物学研究室 e-mail: endoh@kochi-u.ac.jp)

会記・Proceedings

魚類学雑誌
55(1): 73-74

2007年度第4回幹事会

日 時: 2007年11月27日 13:05-17:30

場 所: 京都大学フィールド科学教育研究センター

出席者: 松浦・西田・奥田・甲斐・竹垣・波戸岡・北川・
藪本(次期会計幹事)・須田(次期会計幹事)

1. 会務報告: 2007年度科研費「研究成果公开发表(B)」に、市民公開講座「人と田んぼと魚たち—農と自然の共生」が申請された。科研費「学術定期刊行物」は、今年度から義務づけられた出版社の競争入札と採択後の監査への対応策が不十分であることから申請を見送った。今後は、採択された他学会の動向を見ながら申請を検討するが、基本的には科研費に頼らない学会運営を目指す方針であることが確認された。
2. 編集報告: 2008年度から編集委員長に篠原現人氏、英文誌主任編集委員に渡辺勝敏氏の着任が報告された。2008年度から英文誌に限りOnline Firstサービスが始まり、これに伴う雑誌体裁の変更等が報告された。英文誌の電子投稿査読システムの2009年度以降の導入が検討されていることが報告された。
3. 会計報告: 2007年度より一般会計の支出項目に「選挙関連費」を新設し、2008年度から非選挙年に「選挙関連積立金」を計上することとなった。和文誌の広告掲載に加えて、今後は学会HP上でのWeb広告について検討することとなった。科研費「研究成果公开发表」についても2008年度から特別会計として試算表・収支決算表を作成し、年2回の監査を実施することとなった(監査は2007年度採択分も実施)。年会事務局の会計業務引き継ぎの円滑化と会計の明瞭化をはかるため年会要項と収支報告書の雛型を作成することとなった。シンポジウムの援助額や配分方法について議論された。年会の旅費援助事業に関するアンケート結果とオークションの売り上げが報告され、今後の援助事業の在り方が議論された。
4. 年会報告: 電子情報委員会と年会事務局から2007年度の年

会開催に関する問題点が指摘され、12月21日に国際文献とともに年会反省会が開催されることとなった。

5. 男女共同参画: 第1回男女共同参画作業部会の開催報告があった。来年度、男女共同参画学協連絡会に正式加盟するに当たり、本会の男女共同参画委員会の設立準備を開始することが確認された。また、年会時に懇談会あるいはシンポジウムの開催が予定され、託児支援の方針が決定された。学会活動における問題抽出のためのアンケート調査が実施されることとなった。委員候補1名の辞退表明と今後の活動拡大に対応するため、委員候補を増員することとなった。
6. 電子情報委員会からの提案: 学会のプライバシーポリシーを制定することとなった。幹事会との連携を強化する一貫として、事務局と合同で年1回開催される幹事会に電子情報委員長に参加してもらうこととなった。電子情報委員の引き継ぎに関して意見が交わされた。
7. 学会の国際化について: 海外会員からの要望で2008年度から英語の年会プログラムを作成しHP上で公開することとなった。海外からのオンライン入会に対応するために、会則・細則を一部英文化することとなった。
8. その他: 学会運営の経費削減案として、和文誌の完全オンライン化(Web出版化)の検討を開始することとなった。中国評議員の次期評議員辞退申し出が了承された。

2008年度第1回幹事会

日 時: 2008年1月18日(金) 13:10-17:40

場 所: 九州大学農学部

出席者: 西田・後藤・望岡・高橋・竹垣・須田・藪本・篠原(編集委員長)

議題

1. 会務報告: 会員数推移が報告された。今年度の行事予定が確認された。今年度の学会賞への応募がまだ無いことが報告され、個人会員と評議員に応募と推薦をそれぞれ促すアナウンスをすることとなった。

2. 会計報告：2008年度の予算案が確認され、これまでの支出状況が報告された。
3. 年会関連報告：年会シンポジウムへの応募状況が報告された。年会反省会の報告内容が以下のように検討された：口頭発表における動画の使用および年会用ノートパソコンのメモリ増設が承認された。シンポジウムにのみ参加する会員にも参加費が必要である旨を会告に明記することとなった。オークションはこれまで通り年会事務局で運営する方向で検討することとなった。オークションの存続や実施方法が検討され、旅費援助の必要性の再確認と、今後の旅費援助事業とオークション運営に対する意見を聞くためのアンケートを実施することとなった。オークション用の献本も募ることとなった。年会の参加登録システムの変更と新機能導入が承認された。
4. 電子情報委員会からの報告：オンライン入会システムの導入が承認された。学会における個人情報の使途が確認され、これをもとに電子情報委員会でプライバシーポリシーを作成することとなった。メーリングリストのサーバーが事務局に移され、その運営と管理を電子情報委員会で行うこととなった。
5. 男女共同参画の活動報告：委員候補に須之部友基氏（東京海洋大）が加入したことが報告された。年会時に学会特別枠でシンポジウムを開催することとなった。年会時の託児所の開設場所と利用者への援助額が検討された。
6. 和文誌のWeb出版化について：和文誌のWeb出版を検討するに至った経緯および実施された場合の経費の削減額が説明された。編集委員会からの意見が報告され、和文誌を冊子体として残すための代替案や経費削減案などが議論された。
7. 提案書・意見書の回答について：「淀川水系におけるイタセンバラ保護に係る緊急要請」に対する各機関からの回答書の内容が、評議員に未報告であるため、自然保護委員長に早急に報告を依頼することとなった。再発防止のため各機関からの回答書の窓口である担当庶務幹事が、委員長の判断を仰いで回答を評議員に報告することとなった。
8. その他：HPにバナー広告を導入することが承認された。委員の任期制定が検討され、全ての委員の任期を2年（再任を妨げない）とする会則の改正案を評議員会に諮ることとなった。庶務幹事の業務分担が確認された。水野評議員より次期評議員辞退の申し出があり、了承することとなった。評議員選挙に関する細則の改正文案が了承された。